



## 2024年(令和6年)が始まりました。

令和6年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」。「甲辰」は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」年なのだそうです。令和6年度に向けて、それぞれの芽が伸び伸びと成長するように、1、2学期に「楽しみながらチャレンジ」してきたことを定着させ、充実した日々を送りたいものです。

とはいえ、新年早々、北陸の能登半島を震源とする地震や津波により、現在も全容がつかめず救助やライフラインの復旧がままならない状態です。被災された方々、寒さの中避難生活を余儀なくされている方々に心からお見舞い申し上げます。

始業式の今日、寒い朝を迎えましたが、校門で迎えた時の様子は、表情も明るく安心しました。「おはようございます」のあいさつや門礼がさらに心のこもったものになるといいなと思いました。3年生は面接の練習も始まります。「礼節」の種子を大きく育て、相手に伝わるはっきりとした声で、丁寧なあいさつや門礼を笑顔でさりげなくできるように日々磨いてほしいと思います。

式では、生徒を代表して1年4組松下龍乃介さん、2年4組岸川 瑠さん、3年4組宇都知里さんが、それぞれ2学期の反省と3学期の決意を述べてくれました。そこでは、学習や規則正しい生活、友人との協力・助け合いへの意欲が述べられました。「一年の計は元旦にあり」というように、何事も初めが肝心です。しっかりした計画のもとそれぞれの志を現実のものとするために一步一步前進していきましょう。「しなやかなたくましさ」を身に付けるには、睡眠、食事をしっかりと、規則正しい生活をするのが一番です。

この冬の休みに読んだ本で、「おやっ」と思うことがありました。「自立」という言葉の意味は、辞書には「他の援助や支配を受けず自分の力で身を立てること。ひとりだち」とあります。しかし、あなたの人生を振り返ってみてください。「他の人の力をまったく借りずに自分の力だけで生きてきた。」と言える人がいるでしょうか。両親や兄弟姉妹、学校の先生や地域の方々、友人や知人など様々な人たちの助けに支えられて今のあなたがいるのではないのでしょうか。医者で脳科学を専門に研究している成田奈緒子さんは、本当の自立は「自分ができないこと、助けてほしいことを、素直に他人に言えること」だと書いています。そして、周りの助け、支援に対して「ありがとう」と心から言えること。もし、誰かに迷惑をかけてしまったときは、素直に「ごめんなさい」と言えること。また、助けてほしいと素直に言えるためには、周りの雰囲気も大事です。「あなたが困っているときはいつでも力になるよ。」そういった寛大な心や思いやりの心をもつこと。ウェルビーイングであるとはそういうこと。「自分はやっているのに」この「のに」が行き交う中では、助けも求めにくい。一人の100歩を目指すよりも、お互い励まし、助け合って、100人の一歩を目指す、535人がそれぞれ一歩前へ踏み出しながらゴールを目指す、そんな三学期にしましょう。



## 一年間の無病息災を祈る。鬼火焚きに参加しました。

1月8日(日)は、中別府12班、13班の、1月9日(月)は西菖・東菖地区の鬼火焚きが実施され参加しました。大やぐらを焼いて、正月飾りについた悪霊(鬼)を追い払う鹿児島県の伝統行事です。天気にも恵まれ、高さ4メートルを超える大やぐらに子供たちの代表が点火すると、火はあっという間に勢いよく燃え上がりました。炎の前に、一年間の無病息災、家内安全などを祈願しました。残り火で焼いた餅も振舞われ大変おいしかったです。ふと、準備から後始末まで、中学生も手伝ってやり方を覚えていくことも必要だよなと思うことでした。家庭や地域と一緒に子供たちを育ててまいりたいと思います。本当にありがとうございます。



## 第41回 吉野東校区山坂達者駅伝大会が吉野公園で開催されます。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症のために中止となっていた、吉野東校区の山坂達者駅伝大会が、会場を吉野公園に移して開催されることになりました。それぞれの町内会ごとにチームをつくって競走するようです。健脚自慢の生徒たちも是非参加しましょう。また、応援も多いと盛り上がります。地域行事に参加して地域を盛り上げましょう。中学校でもチームを組んで出場しようとしています。

主 催：吉野東まちづくり協議会

日 時：令和6年2月4日(日) 午前9:00～12:00 (小雨決行、延期なし)

出場チーム：西菖、東菖、中別府、中ノ町、七社、上之原、平原・吉野台

コース：吉野公園内多目的休憩所前を起点とする500m、1000mコース